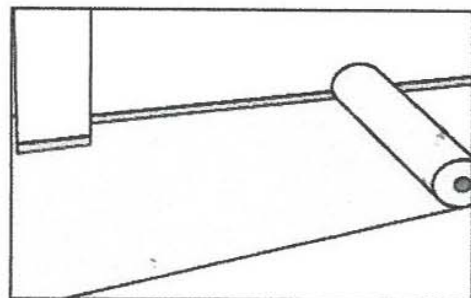
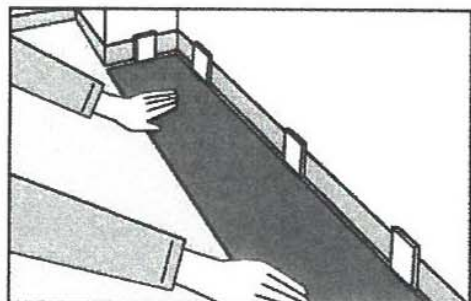


[施工方法]



1. マットを敷きます

ロールとロールが重ならないように両面テープ部分のみ重ねて貼ってください。

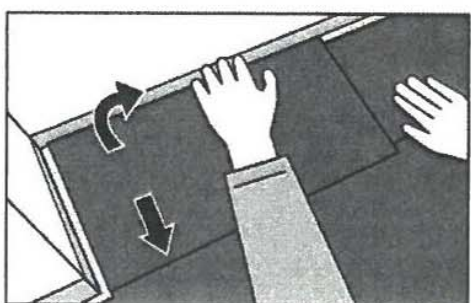


2. 貼り始め

凸サネを壁側に左側から貼り始めてください。幅が均一なスペーサーを使用して8mm以上の調整幅を確保してください。スペーサーは約400mmピッチで取り付けてください。



(注)
凹サネ部にゴミが入っている場合があります。ブラシ等でゴミを取り除いてから施工するようにしてください。

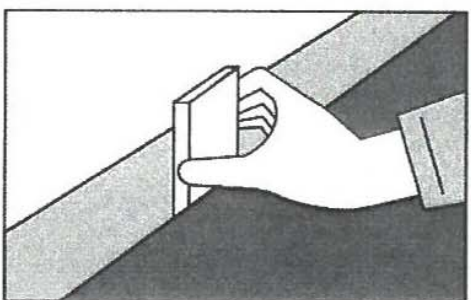


3. 2列目以降の施工

前列の最後に切断した残りのパネルを2列目の最初に敷きます。(パネルの長さは350mm以上必要です。)350mm以下の場合新しいパネルを半分に切断してご使用ください。

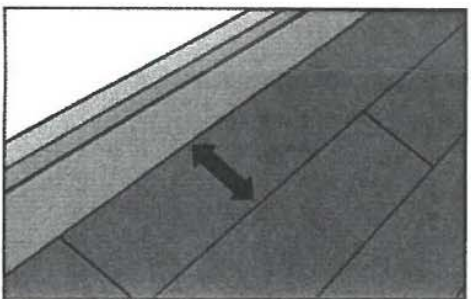
長手、短手方向をきっちりサネが入り込むまではめてください。最終列の施工は手前側に引き込みながら調整します。

*きっちりサネが入っていないと割れや欠けの問題になります。



4. スペーサーの取り外し

パネルを全てはめ終わったら、最初に壁際に取り付けしたスペーサーを取り外し周囲に均一の幅であることを確認してください。



5. 巾木の取り付け

巾木の種類にもよりますが、フローリング伸縮の動きを妨げないようにしてください。

[ご使用前の注意事項] 施工される前に必ずお読みください

【下地チェック】

- 施工直後のコンクリート下地は完全乾燥させてください。
- 下地は砂、小石等が残らないようによく清掃してください。
- 大きな凸凹や亀裂がないように、下地を整えてください。
- 下地には専用下地シート必ずご使用ください。

【施工上の注意】

- 本製品は置き敷き工法にて施工してください。
- 下地の不陸を確認してください。床貼りに影響がある場合は手直ししてから工事をしてください。不陸調整の目安は1Mにつき±1.5mmまでです。基本的に厚み12mm以上の下地合板が必要になります。
- 施工前に下地が乾燥していることを確認し施工してください。
- 伸縮時にフロア面が動けるように釘や接着剤で固定しないでください。
- 製品は温度により伸縮しますので必ず調整幅が必要です。
- 壁際には巾木の厚み確認し8mm以上の隙間をもたせてください。調整幅がない場合、フロアが伸びた時に音鳴り、浮きの原因になります。
- 防湿のために下地シートを必ず使用し、下地面に接着しないでください。
- 下地シートは壁際いっぱいまで敷いてください。
- サネ部分を差し込むときは、平面に対して指2本分(約20度)くらいの角度で前のフローリング材に差し込み、しっかり奥まで差し込んだ上でゆっくりと平面になるように倒しこんでください。
- サネの凹み部分にゴミが入っている場合、ブラシなどでよくゴミを取り除いてください。
- 2列目以降の施工は段差が発生しやすくなりますので、必ず指や爪を立ててつなぎ目に段差がないか確認してください。
*段差がある場合、サネがきちんと入っていない状態です。再度入れ直して施工してください。施工を続けてしまうと隙間が開いている状態のため再度、貼り直しの手間が必要ですのでご注意ください。
- 縦、横ともに10mを越えた長さに施工する場合は、必ず10mごとにT型見切り材(別売り)を入れてください。
- 1部屋の施工は1日で完成させてください。数日間で分けて施工すると湿度等の条件が異なるため、不具合が発生する場合があります。
- ビスで固定しなければ納まらない部分はビスの径よりも少し大きめの穴を先に開けてから留めるようにして、伸縮に対応できるようにしてください。